

環境振動企画検討WG 平成 25 年度第 2 回議事録

日 時 2013 年 10 月 28 日 月曜日 17:00~19:30

場 所 建築学会会議室

出席者 益田主査他、7 名

審議議題

第 32 回環境振動シンポジウムの講演テーマ内容調整

資料

No.2-1 第 32 回環境振動シンポジウムのレジメ

No.2-2 第 32 回環境振動シンポジウムの実行予算案

No.2-3 第 32 回環境振動シンポジウムの HP 案、会報案

No.2-4 メール

No.2-5 ランダム水平振動に対する居住性能評価 (案)

No.2-6 床振動に対する居住者意識に基づいた性能ランクの設計に関する研究

居住者意識に基づいた水平振動に対する居住性能のグレード化に関する研究

交通による水平振動を主対象とした目標とする性能グレードの設定とその説明

資料の提案

環境振動の性能グレードに関する構造設計者のデルファイ法による評価

第 32 回環境振動シンポジウム案 (2014 年 01 月 31 日 (金) 13:30~17:35)

「居住性能評価指針の新たな方向性 – 評価と設計の分離 –」

		司会 益田 勲 (日本交通技術)
13:30	1. 趣旨説明	横山 裕 (東京工業大学)
13:45	2. 居住性能評価の枠組み	松本泰尚 (埼玉大学)
14:10	3. 居住性能評価 (鉛直: 時間影響を考慮)	富田隆太 (日本大学)
14:35	4. 居住性能評価 (水平: 時間影響を考慮)	久木章江 (文化学園大学)
15:00	休息	
15:15	5. 居住性能ランク	石川孝重 (日本女子大学)
15:40	6. 居住性能設計指針の枠組み	濱本卓司 (東京都市大学)
16:05	休息	
16:20	7. パネルディスカッション: 評価と設計の分離	
	モデレーター: 鈴木雅靖 (鹿島建設)	
	パネラー : 横山 裕、松本泰尚、富田隆太、久木章江、石川孝重、濱本卓司	
17:20	8. まとめ	国松 直 (産業技術総合研究所)
17:35	閉会	

審議: ・以前に行われていた「質問票」の配布は行わないのか。(鈴木司会)

→ 今は行われていないし、使う聴衆がいないのでは。

・主旨説明 (横山委員長): 評価指針と設計指針の棲み分けを中心に

・松本先生の御講演: これまで振動数と振幅領域だけの評価指標であったのに対し、時間要因を入れていくという方向性を述べる

・居住性能評価 (水平: 時間影響を考慮) (久木先生)

資料 No. 2-5 に基づき説明、振幅が時間変動するランダム振動の評価

→7章の「感覚量によるランダム振動の評価」は石川委員担当の居住性能ランクにまで踏み込んでいるのではとの議論があり、両者の棲み分けを明確にすることとした。  
→居住性能評価指針検討WGの成果を入れる。

- ・居住性能評価（鉛直：時間影響を考慮）（富田委員）

口頭で説明、時間変動する振動を不快度合い、気になり具合の観点から積分量で評価  
→居住性能評価指針検討WGの成果を入れる。

→鉛直振動、水平振動の講演題目がしっくりこない。以下に変更する。

鉛直振動の時間影響を考慮した評価例 富田隆太（日本大学）

水平振動の時間影響を考慮した評価例 久木章江（文化学園大学）

→（講演題目はHP、実施計画書を修正し事務局で対応された）

- ・居住性能ランク（石川委員）

資料 No. 2-6 に基づき説明、閾値、標準の位置づけ、不快、不安、ランク  
例えばランクは以下のようなイメージ

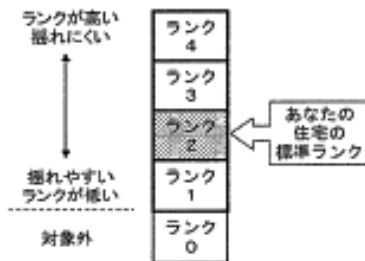
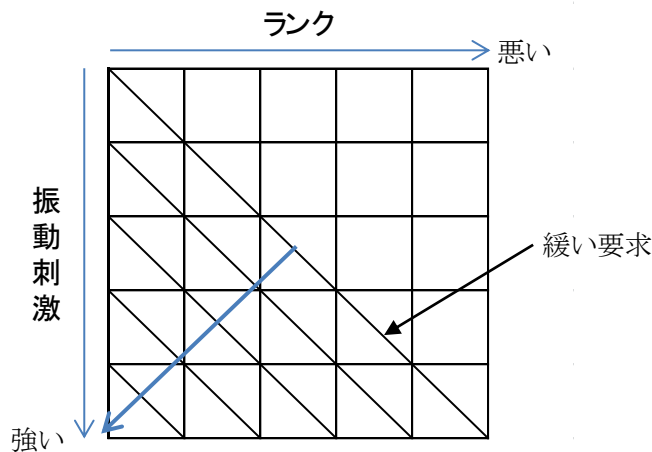


図3 性能ランクの考え方

- ・居住性能設計指針の枠組み（濱本委員）

口頭で説明、マトリックスの概念、振動刺激（自然振動源、人工振動源（外部）、人工振動源（内部））、許容レベル（居住性）、緩い要求、きつい要求

例えばマトリックスは以下のようなイメージ



以上